



TEL 0748-22-3030

FAX 0748-23-3383

2016.1.31
VOL.21
独立行政法人国立病院機構
東近江総合医療センター



編集:広報委員会



新年挨拶



東近江総合医療センターの状況



院長 井上 修平

明けましておめでとうございます。私が院長に就任してもう8回目のお正月を迎えました。この冬はエルニーニョ現象の影響で例年になく暖冬となっています。ホリトリクリスマスどころか積雪のない冬になるかもしれません。さて当院は平成25年4月1日から「独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター」と名称変更となり3年が経過しようとしています。昨年、平成27年4月1日に全国143病院の国立病院機構は非特定独立行政法人化されましたが、非公務員化といっても「みなし公務員」であり以前からのミッションである「診療」、「臨床研究」、「教育研修」の法的責務を今後とも実施していき320床の中核病院としての重責を担っていきます。

昨年は4月1日に副院長の来見良誠先生がJCHO滋賀病院院長として栄転され、後任に目片英治先生が副院長兼総合外科学講座教授として7月1日に赴任しました。また4月1日には耳鼻咽喉科も常勤となり、毎日の外来診療を開始するとともに手術を含めた入院対応を行っています。9月からは東2病棟のリハビリルームをHCU(ハイケアユニット)として稼働しています。10月からはESWL(体外衝撃波結石破碎術)も開始となり、尿管結石の治療手段が増えました。来年度は念願であった麻酔科の常勤増員となり、増加している手術に対応できるようになります。現在、非常勤医師に頼っている診療機能は放射線治療医、病理診断医、血液内科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺外科、精神科となっていますが、これも今後の課題となっています。それでも医師の充足は順調で患者数の増加に対応できてきましたが、問題なのは看護師、助産師、看護助手、医師事務補助者、MSW等の職種のマンパワー不足が続いていることです。看護師はいまだに他の国立病院機能病院からの派遣に頼っている現状です。またハード面は充実しましたが、認定看護師等の資格保持者も養成できていません。今後、中核病院の役割を果たしていくためには重要な問題だと痛感しています。

今後の目標は築40年以上が経過し老朽化している「外来・管理棟」の建て替えです。一日の外来患者数が500人を越える日も多く、外来診察室も手狭になっています。中核病院としての機能を果たしていけるような設計にしたいと思っています。

まだまだ医師をはじめスタッフ不足は解消されていませんが、一步ずつ着実に前進して真の中核病院としての機能を果たせるよう、また地域の皆さんに信頼され、そして職員にもやりがいのある病院作りをしていきたいと思っております。どうぞ今年もご支援の程、宜しくお願いいたします。

防災・防火・災害訓練を行いました

平成27年11月14日、滋賀県南西部に震度6強の地震が発生したと想定した「防災・防火・災害訓練」を実施しました。当院職員92名が参加し、地震発生から救急患者受入までの訓練を行いました。



市民公開講座を開催しました

平成 27 年 11 月 15 日、当院きらめきホールにて第 1 回市民公開講座を開催しました。当日は 112 名もの多くの方に参加いただき、盛況に執り行われました。

「地域で支える健康」をテーマに大西循環器内科部長、堀川糖尿病・内分泌内科医師、藤本消化器内科医師にご講演いただきました。



辻川副院長



堀川糖尿病・内分泌内科医師



藤本消化器内科医



大西循環器内科部長

1

『糖尿病にならないために何を食べたらいいですか？』

糖尿病・内分泌内科医師 堀川 修

2

『あなたの胃、ピロリ菌はもういませんか？』

～胃ガン予防のために～

消化器内科医師 藤本 剛英

3

『息切れ、むくみはありませんか？』

心不全を早期発見！

循環器内科部長 大西 正人






クリスマスコンサート



サンタ登場！



平成27年12月22日、恒例のクリスマスコンサートが開催されました。
合唱に独唱。ハンドベルにピアノ連弾、そしてギター演奏！
多くの患者さんが、楽しいひと時を過ごされたと思います。



Guitarist K&E



びわこ学院大学のみなさん



バラ園の園児たち